

■ 平城遷都1300年記念祭 協賛

第61回全日本弓道遠的選手権大会 について

かねてから、平城遷都1300年記念祭にあわせて、史実に基づき平成22年10月24日に、古代行事の再現として、小笠原宗家小笠原清忠氏を中心に「射礼（じゃらい）」が行われることになっております。史実によると、古代から、国家行事として、天皇陛下の前で射会が行われ、時には、外国の要人も参加していたとのこと。

この機会に、弓道を広く理解してもらうために、弓道連盟として、なんらかの射会を催せないかと模索しておりました。この度、全弓連と1300年記念祭事業協会との話し合いが進み、平成22年度の全日本弓道遠的選手権大会がこの平城宮跡で行われることになりました。奈良県弓道連盟は、主管として運営に携わることになりました。

この歴史的な催しに参加できることを誇りに、会員の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

■ 全日本弓道連盟創立 60 周年記念式典

10月17日に祝賀会、18日には祝射会が開催され、地連代表選手として西中・阪中・藤岡・西田・矢野（由）の5名が参加しました。

第1日目は京王プラザホテルにて記念式典及び祝賀会が執り行われ、功労者の方々や関係団体の記念表彰、人間国宝の野村萬氏による狂言「清水」の上演に続き、高円宮久子妃殿下のご臨席のもと、盛大に祝賀会が催されました。

祝賀会では江戸浅草木遣きやり（元々は火事場で歌われる労働歌でしたが、現在では祝宴などでも歌われます）が披露され、威勢の良い木遣で祝賀会がおおいに盛り上がりました。祝賀会では全国の地連の代表の方々と交流することができ、貴重な時間を過ごすことが出来ました。➤



➤ 第2日目は全弓連中央道場と至誠館で祝射会が行われました。全国54地連対抗予選から始まり、予選通過16地連による決勝トーナメントが行われましたが残念ながら奈良県は予選通過ならずでした。私たちは中央道場は初めてでしたが、広い道場に驚きながらも厳粛な雰囲気の中で弓を引かせて頂き、本当に貴重な経験をさせていただきました。これから益々の全弓連の発展を祈りますとともに、微力ながら貢献することが出来ましたなら嬉しく思います。このような記念すべき祝典及び射会に参加させて頂き、ありがとうございました。

(西田ゆり・矢野由起子)

◆ 第12回 奈良県弓道近的選手権大会

11月3日 橿原公苑弓道場

(竹村副会長のご挨拶)

寒くなってきました。弓を引く目的の一つは健康でいることです。体調管理には気をつけてください。今年も色々な全国大会がありました。参加した皆さん、ご苦勞様でした。国体では、少年女子の準優勝、全日本選手権では、深田先生の8位という素晴らしい成績を出していただきました。前会長の井上先生が設立60周年の功勞賞を頂いておられます。現在、お歳は91歳になられていますが、元気に頑張っておられます。皆さんにありがとうとお伝えしてくださいとのことでした。



【結果】

▽成年男子

- ① 矢野 有吾 (奈良)
② 乾 光孝 (香芝) ③ 新子 修平 (五条)

▽成年女子

- ① 土谷 ひろみ (奈良)
② 矢野 由起子 (奈良) ③ 吉岡 瑞紀 (香芝)

◆第62回 近畿高等学校弓道大会

10月31日、11月1日、兵庫県明石市兵庫県立弓道場に於いて、近畿高等学校弓道大会が行われた。個人戦は男女各60名、団体戦は男女各20校が参加した。奈良県勢の結果は次の通り。

《個人戦》(10月31日)

女子 予選通過者

松村 有里子(奈良北高校) 鶴留 彩花(橿原高校)

男子 予選通過者

山中 大輔(平城高校) 畑生 昂俊(平城高校)
楠田 雄史(畝傍高校) 高間 光司(橿原高校)
遠山 雄人(橿原高校) 竹森 健吾(法隆寺国際)

☆☆ 入賞者 ☆☆

女子 7位 鶴留 彩花
男子 4位 竹森 健吾 6位 高間 光司

《団体戦》(11月1日)

女子 予選通過

高田商業 鶴谷直美 竹花愛 生田瑞貴 堀川美奈
橿原高校 藤田葵 樋口若奈 加藤美緒 山本真悠子
五條高校 岡島優衣 松田清子 松村知妃 呂 辻本成美

男子 予選通過

橿原高校 丸和浩 高間光司 坂口賢 小西啓佑

☆☆ 入賞校 ☆☆

女子 3位 五條高校

近畿高体連から功労者表彰が行われ、3名の先生方に感謝状が贈られた。奈良県の受章者は次の2名の先生方です。

井戸上 博一 福井 修 (敬称略)

◆奈良県中学校弓道新人大会

11月7日(土) 橿原公苑弓道場

《団体戦》

▽近的男子：①八木A(福岡・高井・杉井) ②大成A

(中野・松村・和田) ③八木C(村島・子日・松山)

▽近的女子：①香芝A(前田知・前田ひ・葛井) ②橿原D(平松・中島・松田) ③香芝B(池辺・大崎・高谷)

▽遠的男子：①八木A(福岡・高井・杉井) ②香芝A(竹岡・村岡・田中) ③大成A(中野・松村・和田)

▽遠的女子：①香芝A(前田知・前田ひ・葛井) ②橿原A(本田・梶田・松田) ③橿原D(平松・中島・松田) ↗

↘(中学校新人大会 続き)

《個人戦》

▽近的男子：①松山 樹生(八木) ②福岡 良剛(八木) ③村岡 尚弥(香芝)

▽近的女子：①葛井 麻衣(香芝)

②喜多 ゆきこ(八木) ③松田 晴美(橿原)

▽遠的男子：①福岡 良剛(八木)

②杉井 邦彦(八木) ③上田 龍一郎(八木)

▽遠的女子：①前田 知明(香芝)

②若林 志歩(橿原) ③山崎 遥(香芝)

■第60回全日本弓道遠的選手権大会に参加して

10月23日から25日にかけて中央道場において行われました全日本弓道遠的選手権大会に初めて出場させていただきました。私と長濱さん・西田さんは初出場、山口くんは4回目でした。

23日は午前から昼過ぎまで道場が練習用に開放されておりましたがピーク時には控えから玄関まで行列ができ、一度引くのに1時間かかる様な状況でした。15時より明治神宮に全員で正式参拝という貴重な体験をさせていただきました。その後開会式、飯島先生の矢渡を拝見し、この日は終了となりました。ホテルに帰った後、4人で夕食を食べに新宿の街へ繰り出し、女性陣の希望により焼肉で精をつけました。

翌日、山口くんさん・西田さんはその力を見事予選通過という結果に結びつけました。男子二人は共に六射三中(通過ラインは四中者で遠近競射)で敗退し、翌日の応援にまわることとなりました。行く前に聞いていたとおりの出場者には国体でよく見かける選手がたくさんおり、結果には繋がりませんが適度な緊張感で望むことができたと思います。

その一方で決勝を見ていると自分の力不足を痛感させられました。奈良県の遠的の環境は恵まれているとは言えませんが、それを言い訳に遠的に対する熱意と努力が不足しているのだなと思いました。来年は、この大会を奈良に誘致する計画が進んでいます。この大会に来年も選手として出場できるように、冬場に周りの練習仲間たちを誘い、遠的練習に積極的に取り組んでレベルアップをしていきたいと思っています。

最後にこのような機会を与えていただきました連盟の先生方に感謝を申し上げます。また激励・応援をいただきました連盟の皆様有り難うございました。

(橿原市弓道協会 綿松昭寛)

■ 奈良市弓道場の道場及び安土の改修

道場が建設されて30年を迎え、床等の傷みが目立ち今年の8月から9月にかけて床の修理が行われました。これは、長年、奈良市の財政事情が厳しく、なかなか施工されなかったのですが、当協会から工事費の一部を寄付することによりやっと実現するはこびとなりました。その床工事による道場休館の間に、安土の整備を我々協会員がやろうと発案され、北村氏と古川氏の尽力による改修の設計図にもとづき、夏の暑い中約1ヶ月、土曜・日曜と協会員が連日20名から30名、工事に携わりました。いざやってみると、ここも、ここもと欲が出て最後には、いつ終わるのか心配になるほどみんなが一生懸命やってくれました。その姿をみていた武道振興会の職員さんが、師範席の畳については武道振興会が表替えをしようと言ってくれました。また、安土の軒先の塗装をしていたら、道場の工事をしていた塗装屋さんが高い塗りにくいところを手伝ってくれたりといろいろなことがありました。安土は従来の高さから60センチ下げ角度を約50度にし、基礎部分は階段状に削り、2ミリの通しにかけた土に、おが屑を3割きっちり計って水と練って、その上に積み上げました。なかなか思うようにいかず、やっているうちに皆が手で押さえ積み上げ、最後にこてで仕上げをするという作業になり、完成した際には、だれともなく万歳の声がありました。



この作業のおかげで、自分たちの道場という愛着がわき、弓を引くだけでなく、道場の中に何か芽生えてきたように思います。



当初9月一杯工事で使えないと聞いておりましたが、我々の願いもあり9月19日には安土開きと

して誕生の墓目を執行しました。道具を持って来ていただいた、布目の坂口さんをはじめ、おが屑の提供をいただいたわかくさ会の皆様方に厚くお礼申し上げます。

(奈良市弓道協会 新司 正人)



No. 9

アーチェリーによる高校生の死亡事故が報道されております。痛ましいことです。

全弓連からも、安全管理・危険防止の徹底についての通知もきておりました。今一度、弓を扱うものとして、安全管理・危険防止の確認をよろしくお願いします。

会長 吉本清信

◆ 第28回全国高等学校弓道選抜大会 兼

第17回近畿高等学校弓道選抜大会県

予選会(一次)

11月8日(日) 橿原公苑弓道場

☆個人戦

▽女子(8射4中通過)

参加者90名 予選通過者34名

▽男子(8射5中通過)

参加者109名 予選通過者30名

☆団体戦(3人立、各自8射 計24射 上位6校通過)

▽女子予選通過校(参加校16校)

高田商業 奈良北 橿原高校 郡山高校 五條高校
平城高校

▽男子予選通過校(参加校20校)

平城高校 畷傍高校 橿原高校 高田商業
王寺工業高校 桜井高校

二次予選会は、11月15日(日) 橿原公苑弓道場で行われる。個人の1・2位、団体の1位は3月に大阪府門真市で行われる全国選抜大会に、個人の1～6位・団体の1・2位は1月に明石市で行われる近畿選抜大会に出場される。

■12・1月度競技会予定 (from 競技部)

12/13(日) : 平成21年納会
会場: 橿原公苑弓道場

1/10(日) : 平成22年新年射初会
(+支部・地区対抗戦)
会場: 橿原公苑弓道場